



# 朝日子だより

## 学生編 Vol.16

吉田高校の皆さんへ

夢を実現させるために自ら考え、行動しましょう！〈行動力〉

白壁 里沙子（平成24年度普通科卒業）

出身学校：日本大学芸術学部放送学科（取材時：在学中）

現在：宮城テレビ放送 アナウンサーとして活躍中



## 現在学んでいる内容



**私**は、将来放送関係の仕事に就きたいと思い、より専門性に特化し、実践的な授業が受けられる日本大学芸術学部放送学科に進学しました。放送学科では「テレビ制作」「ラジオ制作」「映像技術」「音響技術」「CM」の5つの専攻に分かれ知識と実技を修得します。その中でも私は「映像技術」を専攻し、カメラや音声、照明などの放送技術について学んでいます。放送学科は、座学ではなく実践的な授業が多いです。実際、週に一度の実習で情報番組や音楽番組などを企画し、撮影から編集までを行い作品を完成させます。スタジオ収録やロケーション、編集作業などをテレビ局と同等の設備で取り組むことができるのは、日芸放送学科の大きな魅力の一つです。

**日芸**には、8つの学科(写真・映画・美術・音楽・文芸・演劇・放送・デザイン)があり、多くの学生が2つのキャンパスに通っています(1・2年次=所沢キャンパス、3・4年次=江古田キャンパス)。様々な芸術に携わる学生と交流を持つことで、良い刺激を受けます。私が通う放送学科は、1学年約130名と学生数が少ないので、教授からきめ細やかな指導を受けることができます。また、グループワークが多いこともあり、男女問わず学生間の仲がとても良いです。放送学科を選ぶだけあって、メディア関係の職業を目指す学生が集まっているのも特徴です。就職活動の相談をしたり、アドバイスをし合ったりと、とても良い友人関係が築けています。

## 大学の様子



# アナウンサーをめざしたきっかけ

**小**学校での放送委員や児童会役員選挙の応援演説など人前で話す経験を通して、自分の言葉で人に何かを伝えるということに楽しさを感じました。小学6年生の時、山梨放送主催のマスコミジュニアツアー(アナウンサー部門)に応募し、取材、原稿作り、収録までの番組制作を体験しました。その時に感じた楽しさや達成感から、将来はアナウンサーになりたいと思うようになりました。

## 夢の実現にむけた活動

### アナウンサー志望者

は、早くからアナウンススクールに通う人が多いのですが、私は、一切通いませんでした。なぜなら、発声練習や原稿読み、カメラテスト等のアナウンス試験に備えた練習ができる環境が放送学科にあったからです。「アナウンス実習」の授業で、元フジテレビアナウンサーの近藤サトさん、元札幌テレビアナウンサーの森中慎也さんから3年間丁寧な指導を受けました。アナウンススクールに通うことで、多くの情報が手に入り、ライバルと競い合うことで自分の力を高められるメリットがあります。しかし、アナウンス技術を学ぶには放送学科の授業で十分だと判断しました。



他に、「日本テレビイベントコンパニオン」という日本テレビの番組やイベントのアシスタントをする仕事を2年次から3年間しています。日テレビベコンでは、礼儀やマナー、言葉遣いや所作などを厳しく指導され、社会人としての心構えを学ぶことができます。早朝からの仕事や深夜までの仕事もあり大変な面もありますが、一般の大学生では経験できない現場を数多く経験することができます。この経験がアナウンサー試験でも役立ったと感じています。



# 卒業後の進路

**放**送学科の卒業生の進路は様々ですが、テレビ局、ラジオ局、番組制作会社、広告会社、CM制作会社などへ多く就職しています。他に、脚本家、アナウンサー、放送作家、タレントとして活躍する卒業生もいます。私の周りもディレクターやカメラマン、音声などの制作関係の仕事に内定した人が圧倒的多数を占めています。アナウンサー志望は、放送学科全体で私を含め2名でした。



## 吉高生に向けて

**吉田高校**での3年間は、勉強も部活もやらなければならないことがたくさんあり大変だと思います。しかし、3年間で鍛えられた「諦めない気持ち」は受験の時も就職活動の時も役立つはず。最後まで自分の努力を信じて前へ進んでください。吉田高校卒業生として、皆さんの夢を応援しています。頑張ってください！！（部活動：吹奏楽部所属）

